LALALA LIBRARY

2024年
10月号

図書委員会　広報班

長かった暑い夏が終わり、すっかり秋になりましたね。秋といえば、食欲の秋にスポーツの秋、芸術の秋…などなどありますが、中でもやはり読書の秋ですよね。秋といえば読書！今年の秋は、沢山の本を読んで過ごしてみてはいかがですか？

『本日は、お日柄もよく』

原田マハ

OLニノ宮こと葉は、想いをよせていた幼なじみ厚志の結婚式に最悪な気分で出席していたとき、涙が溢れるほど感動する衝撃的なスピーチに出会います。それは伝説のスピーチライター久遠久美の祝辞でした。空気を一変させる言葉に魅せられてしまったこと葉はすぐに弟子入り。久美の教えを受け、「政権交代」を叫ぶ野党のスピーチライターに抜擢されます。人と人とを結び合う言葉の限りない可能性をハートフルに描いた青春小説です。「ことば」のチカラに興味がわく、何がきっかけで人生が変わっていくのかわからない、読んでいてわくわくする本です。また、スピーチに限らず、コミュニケーション全てにおいて大切な相手目線、タイミング、印象付ける言葉選び、事前の準備なども学べる本です。ぜひ読んでみてください。

『鬼の花嫁』　クレハ

舞台は人間とあやかしが共存する日本。
美しい容姿と絶大な権力を持つあやかしの花嫁に選ばれることはとても名誉なことであった。
これは、家族にないがしろにされて生きてきた人間の少女・柚子が、あやかしの中で最も権力を持った鬼、玲夜の花嫁に選ばれたことで始まる、和風シンデレラストーリー。

『薬屋のひとりごと』　日向夏

花街で薬師として働いていた主人公・猫猫は人さらいにあい、後宮に下女として売り飛ばされてしまう。年季が明けるまで静かに働こうとしていたら、偶然耳にしたある「うわさ話」に好奇心から首を突っ込んだところ、それを皮切りに様々な事件に巻きこまれるようになる…。